<Grabbit>  
Use-Case: <Grabbitユーザ属性変更>

# ユースケースの目的

管理者が、Grabbitユーザーの属性を変更する。

# アクター

事前条件がシナリオの様に書かれ、共通点が多い。→　自動化する時の考慮は

？

管理者

# 事前条件

管理者でログインし、ダッシュボードが表示され、管理メニュー（admin）が選択可能となっている

# 基本フロー

1. 管理メニューから、admin→ユーザーを選択する。
2. ユーザー一覧／登録画面が表示される。
3. 変更したいユーザーを選択する（一覧からオプションの選択ボタンを押す）
4. Secureユーザー詳細に、選択したユーザーの属性が表示される。（ユーザー名も変更可能である）
5. 表示された項目を変更する。
6. 更新ボタンを押す。
7. 更新完了のメッセージが表示される。（このとき、ユーザーを識別するためのIDが表示される）

# 代替フロー

## 基本フロー＜２＞で、１ページに表示できる件数を上回っている場合、１ページ目を表示し、残りのページへのリンクが表示される。

1. ページ番号を押すと、当該ページのリストを表示する

## 別のページのユーザーを選択する

基本フロー＜２＞で、別のページへのリンクを押す。

## 並べ替えを行う。

基本フロー＜２＞で、リストの列タイトル（ユーザー名またはメールアドレス）を押す。

## 入力対象を変更する

基本フロー＜５＞で、一覧の別のユーザーを選択する。(一覧からオプションの選択ボタンを押す）

# 例外フロー

## 基本フロー＜５＞で、リセットボタンを押す

1. リセットボタンを押す。
2. 入力が取り消され、登録済みの情報が表示される。

## 新規のユーザーとして登録する

基本フロー＜６＞で、新規（new）ボタンを押す。

1. 入力フィールドがクリアされ、更新対象ユーザーが選択されていない状態になる。
2. 基本フロー＜２＞に戻る。

## 基本フロー＜５＞で、ユーザー一覧以外の画面に遷移する。

1. メニューから、タグまたはテストケースを選択する。
2. それまでの入力内容は破棄される。

# シナリオ上の考慮点

## 複数の場所から、同時に同じユーザを別の内容で変更する。

後から変更した内容が保存されている。

## メールアドレスが正しいかどうかはシステムでは検証されない。

# 事後条件

## Secureユーザーの属性が更新されている。

## 一覧表示が更新されている

# その他の要求事項

作成したSecureユーザーの属は、直後から利用可能であること。